

2025年9月海洋観測結果について

8月25、9月1日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」で海洋観測を以下の表1と図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ(<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>)に掲載し、沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

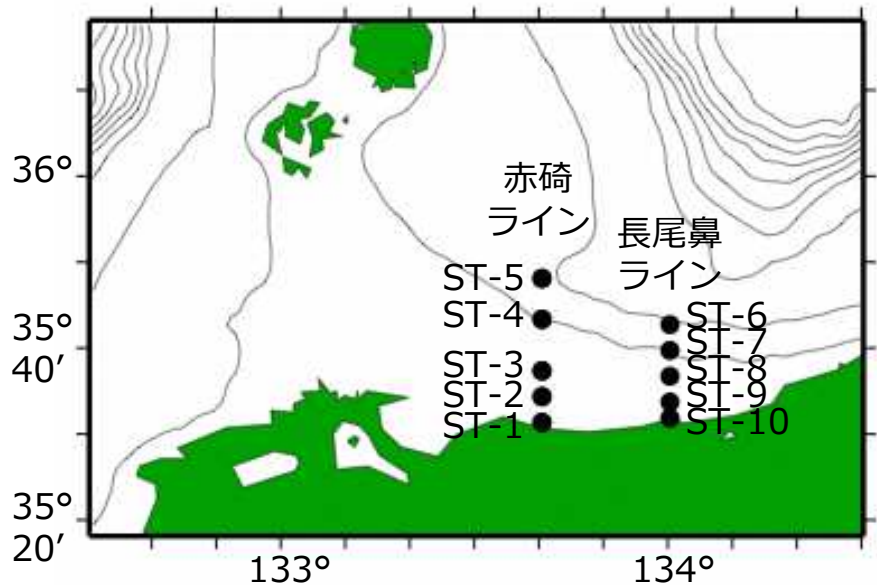


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は29～30℃台に達しており、前月より1℃ほど昇温していました。

水深50m～100mは15～24℃台と、やや深い水深においても高水温となっていました。

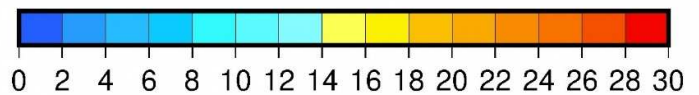
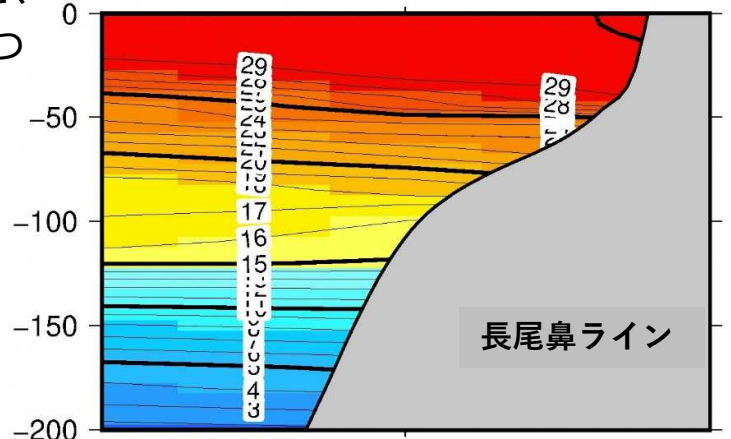
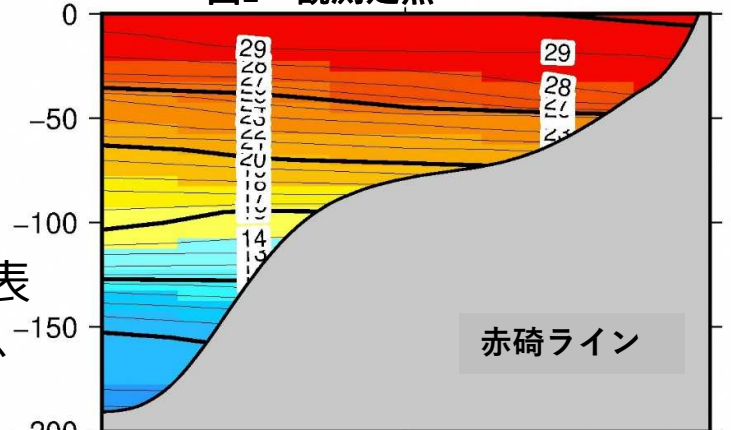


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

水深0mでは、赤碕、長尾鼻ともに平年より2.6℃高くなっていました。水深30mと50mでは、長尾鼻ともに平年より1.5～4.9℃高くなっており、水深90mでは平年より0.5～1.6℃低くなっていました(表2)。

表面水温が平年より高い理由として、8月中旬から下旬の日照時間が約20～40時間ほど長いことにより、平均気温が平年より0.7～3.1℃高くなっていることが影響していると考えられます(表3、4)。

表面水温が30℃台となるのは2011年調査開始以降初めてであり、アラメ等の海藻の枯死につながるおそれがあります。また、魚群の来遊の変化も予想され、今後の水温変化に注視する必要があります。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2025年	29.8	27.7	23.4	16.3	29.9	29.2	25.0	17.4
前年	26.5	21.8	19.3	16.7	28.9	24.9	22.0	19.2
2011-24年平均	27.3	24.5	21.8	17.9	27.3	24.3	21.7	17.8
平年差	2.6	3.2	1.5	-1.6	2.6	4.9	3.3	-0.5

表3 鳥取県の2025年と平年の平均気温

平均気温(℃)	2025年	平年	平年差
8月中旬	28.3	27.6	+0.7
8月下旬	29.5	26.4	+3.1

(気象庁HPより)

表4 鳥取県の2025年と平年の日射量

日照時間(時間)	2025年	平年	平年差
8月中旬	89.2	67.3	+21.9
8月下旬	107.6	66	+41.6

(気象庁HPより)

参考

気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/nml_sfc_10d.php?prec_no=69&block_no=47744&year=&month=&day=&view=p1

.(参照2025-08-12)